



京都大学

設置期間 2019年4月1日～2027年6月30日

寄附者 八千代エンジニアリング株式会社

 八千代エンジニアリング株式会社

「我が国のインフラ設計・マネジメント技術の継承・発展のための実践的研究」

Technology for future

世界の人々に、私たちができること

教員

教授	市川 温	特任教授	小林 潔司
特定教授	青木 一也	客員教授	藤木 修
特命准教授	濱津 陽一		

研究活動

本講座では、アジア諸国を中心に需要が高まっているメガ・インフラに焦点をあて、具体的なビジネス機会の創出、プロジェクト・ビジネスモデル形成の方法論も含めた実践的な調査・研究を中心に活動していきます。具体的には、アジア諸国の協力大学・機関と連携をとりながら、各国におけるメガ・インフラの設計に関わる関連諸制度、日本企業による市場参入の可能性に関する実態調査を行うとともに、日本企業による現地法人設立とその展開に関するケース研究を推進し、東南アジア諸国におけるビジネス機会の創出、プロジェクト形成の方法論に関する実践的な知見を習得し、日本国内のグローバル人材、特にエンジニアおよび技術者たちの育成を長期的に支援していく教育・研究プログラムの開発を目指します。

目的

自然災害の激化、高度情報化の急速な進展のほか、脱炭素化、経済安全保障など我々を取り巻く環境は刻々と変化しており、メガ・インフラやスマートシティの整備とマネジメントに本邦企業が参画することで、新しい時代の社会ニーズに応える方策が必要とされています。寄附元である八千代エンジニアリング株式会社は、「この世界に、新しい解を (Innovative Solutions for the Society)」をビジョンとして、信頼と実績、そして確かな技術と柔軟な発想で、国内外のインフラ整備に貢献してきました。これは誰一人取り残されない社会を目指す SDGs の考え方にも合致しており、事業活動をもって SDGs の達成を推進しています。社会経済や国民生活を支えるインフラ整備について、戦略的な技術開発と実践が求められるなか、本講座は「我が国が厳しい気候風土の中で培い、日本経済や国民の暮らしを支えてきた高度なメガ・インフラの設計技術やマネジメント力をさらに発展させ、世界規模の課題解決に貢献したい」という想いから開設されました。

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



京都大学

設置期間 2019年4月1日～2027年6月30日

寄附者 八千代エンジニアリング株式会社


 八千代エンジニアリング株式会社

「我が国のインフラ設計・マネジメント技術の継承・発展のための実践的研究」

Technology for future

世界の人々に、私たちができること



教員紹介



市川 温 教授

専門分野
水文学、水工計画学

Message

社会を支える基盤としての国土の利用のあり方を水循環の観点から研究し、水とうまく折り合いをつけながら安全かつ快適で持続可能な人間社会を営む方策について考えたいと思います。



小林 潔司 特任教授

専門分野
計画・マネジメント論

Message

インフラシステム輸出を目的として、対象国における技術移転とカスタム化を図るための産・学・官の協同によるプラットフォーム形成とインフラ技術の現地実装化に関する実践的研究を行います。



青木 一也 特定教授

専門分野
社会資本マネジメント

Message

インフラの在り方、必要性を考え、その価値を高めることがアセットマネジメントであり、持続可能な社会基盤の構築のための技術の社会実装を目指します。



藤木 修 客員教授

専門分野
アセットマネジメント、国際標準化政策、環境衛生工学

Message

インフラシステム輸出戦略では、インフラのライフサイクル全体にわたる共創イノベーションと現地化を伴う協働化が不可欠です。大学の「知のネットワーク」資源を活かして、インフラマネジメント・ビジネスのあり方を実践的に追及しましょう。



濱津 陽一 特命准教授

専門分野
国際インフラストラクチャー開発
(プロジェクトマネジメント、水資源管理分野)

Message

人口増加や地球環境問題は、新たな社会課題も浮き彫りにしています。いま求められているのは、こうした課題に向き合い主体的に新たな価値観をつくりだすことです。我が国が蓄積した技術や経験の国際的課題への適応を実践していきます。